

関孝和三百年祭記念事業だより II

真島 秀行

数学通信第 12 号第 4 号（2008 年 2 月）に引き続き、関孝和三百年祭記念事業についてご報告とご案内をさせていただきます。

1. 「関孝和と和算の世界」展

新宿歴史博物館で特別展「関孝和と和算の世界」が 1 月 19 日から 3 月 2 日まで開催されてきました。その後、東京理科大学近代科学資料館第一期展示会（3 月 6 日から 4 月 10 日まで）を経て、現在は大阪市立海洋博物館「なにわの海の時空館」で開催されています（会期は 4 月 15 日から 5 月 18 日迄）。今回、東京理科大学近代科学資料館の増田和彦先生の発案で講談「関孝和伝」を講談師の方に各会場をお願いしています。この講談は徐々に進化しています。

また、和算の常設展示のある一関市立博物館でも国際博物館の日記念事業として特別展が 4 月 26 日から 6 月 8 日まで開催されます。

2. 関孝和三百年祭記念数学史国際会議

この国際会議は、関孝和およびその前後の数学者の業績を中心に、同時代の世界の数学を評価することを目的とし、小松彦三郎先生を委員長とする組織委員会で開催中です。資金の目途がなかなか立たなかったのですが、井上科学振興財団助成金、東京倶楽部文化活動助成金が得られる予定です。また、科学研究費補助金課題としても採択されたので、海外研究者等の招聘にはほぼ問題がなくなりました。東京理科大学神楽坂校舎において、8 月 25 日から 31 日の日程で行われます。

この期間も含めて、8 月 21 日から 11 月 3 日まで東京理科大学近代科学資料館第二期展示会が開催されることになっています。

国際会議および展示会には併設イベントとして公開講演会などが予定されています。

URL: <http://www.tus.ac.jp/info/setubi/museum/tenji/index.html>

をご参照ください。

3. 9 月以降の記念事業

9 月以降については、次回にまたお知らせできると思いますが、日本数学会秋季総合分科会の企画講演の理事会卒によるものがひとつ計画されています。また、11 月下旬から、国立科学博物館における数学者展や併設イベントなどが準備中です。藤岡市等いくつかの関連事業も準備中です。

これらの事業を通じて数学界に追い風をもたらせたらと考えています。

（まじまひでゆき／関孝和三百年祭記念事業実行委員会）